

「プラスの循環戦略」のイメージ（案）

- ・次期総合計画（R 8 年度～R 12 年度）において、将来都市像の体系にとらわれず、経営資源を一体的かつ集中的に投入する分野である「戦略」の名称を「プラスの循環戦略」とするもの。
- ・民間事業者が「稼ぐ」ための環境づくりとサポートを徹底して行い、民間の増加した収益と行政の増加した税収を原資に「ひと」と「まち」に再投資することで、まち全体の価値を高め、そのことがさらなる民間投資を呼び込み、地域全体が持続的に発展していくという「プラスの循環」を生み出していくことを目指す。

①民間事業者が「稼ぐ」ための環境づくりとサポート

- ・企業誘致の促進、市内企業の事業拡大等の産業活性化
- ・交流人口、関係人口、移住者の増などによる外貨獲得

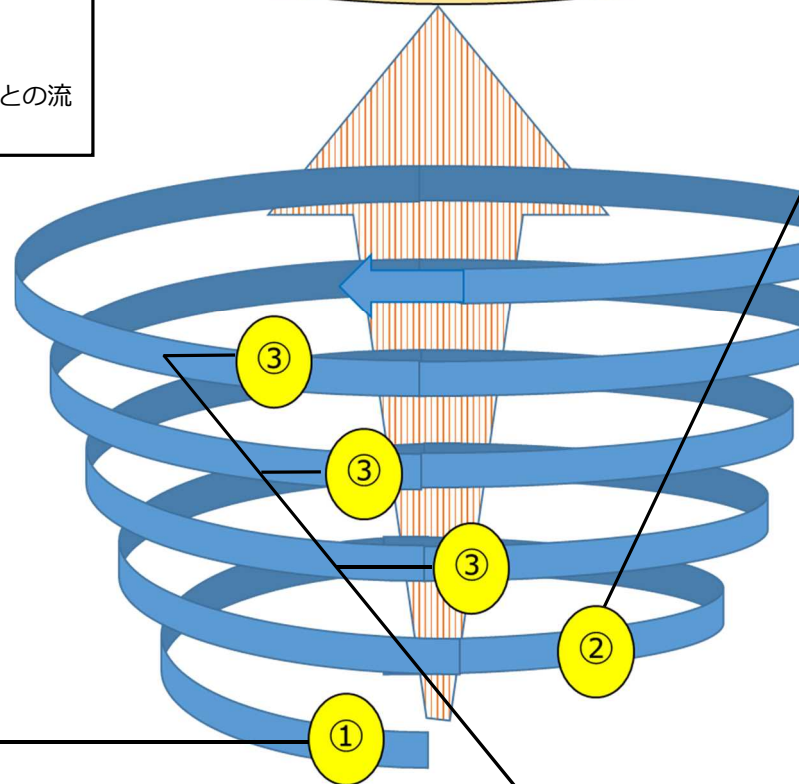
【新】戦略 1

（案）地域産業の活力を高め、働きがいのあるしごとの場をつくる

【新】戦略 2

（案）県都の魅力を発信し、秋田市への新しいひとの流れをつくる

プラスの循環 = 持続的な発展



②人・暮らし・未来への投資

- ・①により民間と行政がそれぞれ得た原資を「ひと」と「まち」に再投資し、まち全体の価値を向上

【新】戦略 3

（案）こども・若者の希望が叶うまちをつくる

【新】戦略 4

（案）誰もが健康でいきいきと暮らせるまちをつくる

【新】戦略 5

（案）災害に強く、安全安心で持続可能なまちをつくる

③まち全体の価値の高まりとさらなる民間投資の促進、持続的な発展

- ・①と②を経て、さらなる民間投資を呼び込むことで、より大きな①と②の循環に発展